

エボニック、高薬理活性原薬を対象とした製剤サービスを提供

2013年11月15日

エボニック インダストリーズ(ドイツ・エッセン)は、最終薬剤製品処方および臨床提供品製造における能力を拡大し、ドイツ・ダルムシュタットならびに米国・アラバマ州バーミングラムにて、高薬理活性原薬(HPAPI)を含有する医薬製品を取り扱うことが可能となりました。高レベルのコンテインメント施設への投資を行い、米国・バーミングラムではラボやGMPエリアの性能を向上させることで、職業暴露限界値(OEL)0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ までのHPAPI、ドイツ・ダルムシュタットにおいては1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ までのHPAPIを扱うことが可能になりました。職業暴露限界値(OEL)0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ までのAPIは、2014年ドイツ・ダルムシュタットにおいても取扱い可能となります。

村田 智幸
日本におけるエボニック グループ
グループ コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7391
FAX 03-5323-7399
tomoyuki.murata@evonik.com

三井 浩
ヘルスケア部
TEL 03-5323-8794
FAX 03-5323-8789
hiroshi.mitsui@evonik.com

経口薬と非経口薬の製剤開発および臨床サンプル供給に関して、エボニックの広範なコンピテンシー・ポートフォリオは HPAPI にまで拡大しました。「最新の薬剤・治療において最高の品質を実現するには、原薬(API)、機能性添加剤、オーダーメイドの処方開発が鍵となります。当社顧客に対して、重要度を増す HPAPI に関する総合的なサービスが提供できるようになりました」と、エボニックのヘルスケアビジネスラインのファーマポリマーズ&サービス・プロダクトライン責任者であるトーマス・リアマイヤー博士は述べています。

HPAPI は、非常に低い濃度においても薬理的に活性のある物質です。こうした活性物質には、通常ある種のホルモン、ペプチド、サイトスタティック(細胞増殖抑制物質)、そしてまだ特徴の全容が明らかでない新規化学物質(NCE)が含まれています。こうした物質は高度な活性を有することから、従業員や環境を保護するには特別な予防措置を必要とします。エボニックでは、最高水準の基準を満たす安全対策を講じています。

「世界でも、限られた企業しか高薬理活性原薬の取扱いは行っていません」とリアマイヤー博士は述べています。

「当社のドイツ・ハナウと米国・ラファイエット(ティピカヌー研究所)の小規模および大規模 HPAPI 生産能力に、ドイツ・ダルムシュタットと米国・バーミングラムの製剤開発および臨床サンプル製造の能力が新たに加わったことで、エボニックは HPAPI の製造と製剤において医薬品業界の理想的なパートナーとなります」。

エボニック ジャパン株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

エボニック インダストリーズについて

ドイツのクリエイティブな産業グループであるエボニックは、スペシャルティケミカルの世界的リーダーのひとつです。私たちの活動はヘルス・ニュートリション、エネルギー効率化、グローバリゼーションといった世界のメガトレンドに集中しており、企業の有益な成長と企業価値の持続的な増大は私たちが目指す戦略の大事な根幹となります。またエボニックは革新的なプロセスと統合的な技術プラットフォームを強みとしています。

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2012年度は33,000人以上の社員を有し、総売上高は134億ユーロ、償却前営業利益(Adjusted EBITDA)は24億ユーロを計上しました(不動産事業部門を含まず)。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(このプレスリリースは2013年11月8日にドイツで発表されたものの翻訳版です)